

最後の砦は陸上自衛隊 「富士総合火力演習、大迫力！！」

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 小澤3陸佐）は、8月21日（木）、募集対象者・募集相談員・父兄会等80名が参加した富士総合火力演習の見学を支援した。

当日は、曇りのちかんかん照りの猛暑となり、人混みの中で大汗を掻きながらの見学となった。戦車砲の空気を切り裂く大きな音にビックリしながらも、鳥嶋防衛を想定した演習であったことから感心も高く、全員が真剣に見学していた。また、最新型の10式戦車等の装備品を間近に見て、非常に頼もしく感じた様子であった。見学終了後のバスの中では、陸上自衛隊の精強さ、射撃の正確さ、装備品の素晴らしさ、など話は尽きず、「やっぱり最後の砦は陸上自衛隊だな」という声も聞かれた。



富士総合火力演習



10式TK

上大岡募集案内所は、「来年も対象者等を見学に招き、自衛隊への理解者、入隊希望者等を増やしていきたい」としている。

職業擬似体験の場に自衛隊のブースを展開

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、8月23日（土）、海老名市中央公園において、「わいわい！キッズお仕事フェスティバル」に自衛隊の体験ブースを展開し広報活動を実施した。このイベントには、海老名青年会議所からのお誘いで初めての参加となったが、自衛隊の他、市内13の小学校から公募により抽選された児童260名と保護者、地域の企業10団体が参加した。

自衛隊ブースでは写真パネルを展示するとともに、迷彩服に着替えた児童が広報官の号令に合わせて敬礼等の基本教練を体験した。自衛官を体験することができた参加者からは「学校で習う『気を付け』と全く違っていて勉強になった」「みんなで動作を合わせるのが難しかったけど、そろった時がとても気持ちよかった」と感想を述べていた。実行委員長は、「仕事を擬似体験することで楽しみながら社会生活に必要な自主自立の精神や協調性を養い、郷土愛を持った健全な青少年に育ってほしい」と、このフェスティバルの理念について説明した。



自衛隊体験ブース



子供の目線で基本教練を指導

厚木募集案内所は、「今後も市民と直接触れ合える地域のイベントに積極的に参加し、募集基盤の強化を図っていきたい」としている。

大和市総合防災訓練 防災フェスタ2014

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、8月23日（土）、大和市深見小学校において、大和市が主催する「大和市総合防災訓練 防災フェスタ2014」で募集広報を行った。

大和市は、東日本大震災をはじめとする大規模災害の様相に鑑み、市民一人ひとりが災害に対して準備し、自助能力向上のため、地震によるエレベーター閉じ込めなどの体験型の防災訓練を実施した。厚木募集案内所は、非常糧食の展示や各種災害派遣の写真パネルを展示したが、ご覧になった方から、「何回見ても自衛隊の活動には涙が出る」「ありがとございました。これからもよろしくお願いします」などの感謝の言葉が聞かれた。

厚木募集案内所は、「各市町村の防災訓練に積極的に参加し、募集で競合することが多い警察や消防と切磋琢磨しつつ、広く自衛隊の活動を認識してもらおうよう尽力する」としている。



パネル展示の様子